

一歩前進



お盆前の夏にこそ、平和について語りましょう！

校長 石畑 浩一

今回の話は、1学期終業式の中でも話した内容になります。以前は8月頭にも出校日がありましたので、その際に、「平和について考えてみよう」などと題して平和学習の一部を紹介し、8月6日・9日・15日の歴史的に大事な日を見据えて話をしたものです。ということで、平和講話など大事なことは何度でも繰り返し話すことで、皆さんの中にしっかりと記憶され、そして、また後輩や年少者に引き継いでいけるくらいの知識になってくれればありがたいなあと思っています。

平和の話の前に・・・1学期の学年ごとの行事の振り返りです。

☆いい所探し(1年生) 集団宿泊学習
皆、最後まで参加することができた！
特に待機時の態度がよいと自然の家の方からほめられた

☆いい所探し(2年生) 修学旅行
旅行の前後で、お互いに注意し合える雰囲気が出てきた！
集合がとても良かったと
旅行業者の方からもほめられた

☆いい所探し(3年生) 職場体験学習
全員参加できた。各班で役割分担をし、協力しながらまとめができた！
本当によく働いてくれたと
体験先から連絡が入った

さて、今回の話は、修学旅行に際して、2年生が直近で話を聞いたり、資料館を訪れたり自分たちで調べたり、まとめたりしたこと(下掲画像はPTA授業参観時の発表シーン)に最も関係があります。2年生の修学旅行訪問地でもある、長崎はアルファベット表記されるケースも増えてきています。NAGASAKI、それは、国際的に平和を訴える場所として、戦争被害の大きかった歴史や遺構などをとて平和希求のメッセージを発信し続けていることで有名だからです。広島も同様です。なので、原爆投下の日に、それぞれの地で行われる平和祈念式典のTV放送を是非とも視聴してほしいと思います。"No more war!(ノーモアウォー)"

そして、よく使われる表現として「最後の被爆地・長崎」という文言があります。これは広島原爆投下の8/6 8時15分から3日後の11時2分に原爆が使われたのを、本当に「最後」にしなければならぬ、大量破壊・大量殺戮兵器による人殺し、このような悲惨な人間の過ち、人類の間違いを二度と繰り返してはならないという強い思いからです。

戦争中も新型爆弾を開発中との情報はありました。遠くから見れば、ピカッと強い光をとまなびさく裂した爆弾が、一瞬にしてその投下地域にドカーンという衝撃波とともにキノコ雲をつくりながら、周辺一帯を地獄絵にする、その様子をピカドンと呼んで伝えていました。開発したアメリカ側の命名で、長崎のものがファットマン、広島のものがりトルボイとなっていたとは、後になってわかったことです。長崎で7万4千人、広島で14万人もの一般人を一瞬にして即死させた原子爆弾とは、どんなものだったのでしょうか。短く無理矢理にまとめたとしても、この新型爆弾の被害・威力・攻撃力はすさまじいものだったと言わしかありません。



原爆は、主にその爆風、熱線、放射線によって、大きな建物も倒壊し、小さなものや人間は吹き飛ばされたり、焼けて姿がなくなったり、黒焦げになったり、やけどを負ったり、火災を引き起こしたり、比較的離れた位置にいた人に対しても人体を内側から(気づく間もないうちに)破壊をしました。しかも、この見えない放射能は数日残り、その被害は離れた場所で被爆した人、遅れて被爆した人に異常症状やケロイドを含めた後遺障害をもたらしています。そして、情報不足から被爆したこと自体がおそれられ、奇異の目で見られたりすることも発生していました。そのため、長い期間、被爆者として声を上げることもできず、独りで病に苦しんだり、被爆者と分かり差別された人々もいたのです。残念で悲しい、心の傷まで生んだことも、原爆被害の1つとして決して忘れてはならないと、先生は思います。

進路について考える ～上級学校説明会～

6月29日(木)・30日(金)の2日間、3年生が上級学校説明会を実施しました。説明会は、進路希望調査結果を参考に公立高校5校・私立高校5校の10校に説明していただきました。保護者の参観もあり、進路に関する意識の高さを感じました。生徒は、希望している高校だけでなく、全ての学校の説明を真剣に聞いていました。夏休みには、多くの高校で体験入学やオープンスクールが実施されます。今回の説明や実際に見た高校のイメージ等を参考に自分の進路について真剣に考え、将来の夢を実現するために、行きたい高校に入学できるように頑張ってください。



集団宿泊学習(1年)

鹿児島市少年自然の家で1泊2日の集団宿泊学習を実施しました。様々な体験学習を通して、集団行動の大切さや協力することの楽しさ、「静と動」「時間」「場所」のけじめなどについて学びました。学んだことをこれからの学校生活に生かしてほしいです。



【焼き板体験】



【野外炊飯活動】

職場体験学習(3年)

入来町内を中心に12事業所で2日間の職場体験学習を実施しました。各事業所に数名ずつに分かれ、「働くことの意義」「勤労の尊さ」「人間関係の大切さや礼儀」等を学びました。実施に当たっては、薩摩川内市商工会議所入来支所の御協力と、御指導いただいた各事業所の方々のお陰だと思えます。ありがとうございます。



【あすくーる入来】



【田島組】

収穫の多かった学年行事

7月4～6日の3日間は2年生で、5・6日の2日間は、1年生と3年生で学校外で実施する大きな行事がありました。行事の実施に当たって、各学年部の職員が年度当初から事前準備を行い、有意義な行事になるよう計画を進めてまいりました。生徒は、実際の活動でこれまでの学習を生かし、多くのことを学んだようです。行事を通じて学んだことを今後の学校生活や将来の社会生活に生かしてほしいと思えます。

修学旅行(2年)

雨の影響が心配されましたが、7月4～6日の2泊3日、計画通りの行程で実施できました。長崎での原爆資料館見学や被爆者体験講話を含めた平和学習・タクシーを利用した自主研修・ハウステンボスでの自由時間・福岡PayPayドームでのプロ野球観戦・太宰府天満宮の見学など、学校では学ぶことのできない貴重な学習をすることができました。3日間、旅行先では、お互い助け合い、時間やルール・マナーを守ろうという雰囲気をつくり、お世話になる方々へあいさつやお礼の言葉もしっかりできていました。バスの中ではガイドさんとの言葉のやりとりも楽しく、退屈しない時間を過ごせました。修学旅行という特別な3日間ではありましたが、日頃の生活の延長であることを実感できる収穫の多い修学旅行となりました。



【入来こども園】



【マルイストアー】



【平和公園折り鶴奉納】



【ハウステンボス】



【太宰府天満宮】



【PayPayドーム】

今後の主な行事

- 7月17日(月) ●海の日
- 20日(木) 終業式 推戴式 大掃除 職員会議
入来語りもんそ会 下校予定 12:05
- 21日(金) 水難事故防止強調期間 ～8/31
- 8月 1日(火) 入来中学校区小中一貫教育合同研修会(入来小)
- 2日(水) 入来地域人権・同和教育研究会講演会
- 11日(金) ●山の日
リフレッシュウィーク ～17日
※ 14・15日は学校閉庁日です。
- 21日(月) 出校日 卒業生と語る会 下校予定 11:10
※ PTA 運営委員会 19:00～
- 26日(土) 入来夏祭り
- 27日(日) PTA愛校作業